

令和6年度 第2回酒田市公共施設適正化懇談会 議事録要旨

日 時 : 令和6年6月26日(水) 14:00~15:30

場 所 : 市役所第三委員会室

参 加 者 委員／前田茂男、阿部公一、村上祐美、長谷川正彦(代理)、前田聡子(代理)
小林正利、佐藤賢一、後藤由美、菊池裕基、舘石承太郎
(欠席) 高橋靖
(敬称略・ : 事務局／齋藤財政課長、鈴木松山総合支所長、阿部平田総合支所長、小林財政
順不同) 課長補佐、成澤財政課アセットマネジメント主査、齋藤財政課アセッ
トマネジメント係主任

資 料 : ・次第、委員名簿等
・松山及び平田地域の公共施設の在り方について

【結果(主な意見)】

- ・ 配置案②平田総合支所の平田健康福祉センターへの移転(複合化)は、執務スペースが狭くなることについての懸念があったものの、反対なし。
- ・ 配置案③松山と平田の農村環境改善センターの統合は、平田地域からの移動への支援も考える必要がある。
- ・ 松山農村環境改善センターは利用率が低く、管理人を置いているのは無駄に感じる。
- ・ コミュニティセンターの移転に関しては、関係するコミュニティ振興会との十分な協議が必要である。
- ・ 人口減少が進む中、自治会長やコミュニティ振興会長への負担感と成り手不足は深刻であり、組織の在り方も問われている。

【議事要旨】

1 松山及び平田地域の公共施設の在り方について

事務局が資料に基づき説明後、意見交換

(委員長) 再配置案はたたき台としての提案になる。全ての施設を維持していくことは将来世代の負担になるため、統廃合と複合化を進めていくことで利便性が急に低下しないようにしていきたい。松山と平田は距離的に近いので、統合できるものもあるのではないか。合併から約20年経過しようとする中、人口は八幡、松山、平田それぞれで減少しているが、平田は比較的減少率が低い。負担を軽減しながら行政サービスを継続していくための意見をいただきたい。

(委員) 平田で鳥インフルエンザが発生したときの対応で、担当部署としての対策案は後回しで統合ということだと思うが、どうするかということではなく、対応案が必要ではないか。また、それぞれの案でどれぐらい経費が削減できるか知りたい。一時的に経費が増える可能性もあるが、総合的な経費削減の効果もあると思う。

(委員長) 鳥インフル時の拠点は、廃止することになれば、事前に調整をする。削減額は、①松山の体育館は入れ替わるだけなのでそんなに変わらない。②平田総合支所は一千数百万円

削減される。経費は一時的にハード整備で増えるが、複数施設を一つにするメリットはある。

(委員) 総合支所の廃止はやむを得ないが十分に対応できるのか。経費のことをいつも話すが、全体的にサービスが悪い。サービスの案はないのか。サービスが悪くなるのが一番困る。

(委員長) 施設を統合・複合化することで困ることはあると思うので、対話をする必要がある。まずは統合・複合化することでどういうことが考えられるかというところから入っていかないと、話が進まないため出させてもらった。

(委員) 農村環境改善センターの案で移動に補助を出すというような提案をしてほしい。

(委員長) 長く施設を持たせるべきという話を前回聞いたが、具体的な施設はどこか。

(委員) ワクチンの集団接種を平田農村環境改善センターで行ったため、この間大きな会議をすることができなかった。移動にバスが使えなければ、自治会長がレンタカーを使って移動した。そうしたことでコミ振の予算を圧迫した。シアターOZでは対面の話し合いができない。支所の移転は、手狭な保健室で作業ができるのか。ひらた生涯学習センターでは体育館を使い、運動会を行った。去年はB&G 海洋センター体育館を使った。郡鏡・山谷コミセンはアスファルト駐車場部分が狭いため、役員会を開くことができない。土のグラウンド部分も駐車場にすると土が剥がれてしまう。施設管理も含め、これから自治会長をやる人たちが苦労しないようにしてもらいたい。

(委員) 松山農村環境改善センターは音響が悪く、マイクを使うと全然聞こえない。改修する場合は、ぜひ音響も直してもらいたい。吸音できなくて反響している。手軽なのは厚手のカーテンをすることだと思うが、修繕時は音響のプロに聞いてもらいたい。

(委員長) 統合後は残った方にお金をかけていく。

(委員) 平田農村環境改善センターも音響が悪い。

(委員) 平田農村環境改善センターには今年新しい音響設備を導入した。

(委員) 農村環境改善センターは利用率が低いにもかかわらず、管理人を置いて維持している。地域住民は利用していない。無理に会議とかで頑張っている感じがする。

(委員) 農村環境改善センターはコミセンが主体に使用するため、それほど使わない。

(委員) 講演会などで使っていたこともあったと思うが、地域住民がどれほど求めているのか。住民が求めるなら利用率は上がると思う。

(委員) 自治会長会議など人数が多い会議を開催するときは必要。

(委員長) 松山の自治会長は全体で何人か。

(事務局) 42 人。

(委員) 役所の職員も来るので 60 人は必要。

(委員長) 自治会長は歩いてくるのか。

(委員) 車で来る。

(委員長) 近いエリアで統合できれば車で行き来もできるのではないか。

(委員) 安定して大きな会議を開けるようであればよい。

(委員) 先日、施設見学をしたが、実際の現場を見られて有意義だった。②平田総合支所の複合化では移したあとにハコだけが残る。現在、2・3階を民間に募集しているというが、実際に使われたことはあったのか。

(委員長) 消防本部の移転後、使われたことはない。過去には、薬品のルートセールスの拠点とする話もあったが、実現には至っていない。公民連携事業として10～20年間貸すという手法もある。

(委員) ③農村環境改善センターの統合と④松嶺コミセンの複合化は同時にできるのか。

(委員長) 一緒にはできない。③農村環境改善センターの統合と⑤南平田コミセンの複合化は同時にやろうと思えばできなくはない。

(委員) 平田の農村環境改善センターを移した上で、松嶺コミセンを移すこともできるのではないか。

(委員長) 可能だとは思いますが、一気にそこまで進めるのはハードルが高い。

(委員) ⑥のひらた生涯学習センターを廃止した場合、東陽コミセンをみどり館にする提案は、コミセンの機能としての心配はないか。

(委員) 狭くてダメだ。

(委員) 事務室の機能がないとか、駐車場を使えないとすれば近隣で駐車場として活用できる場所はあるのか。

(委員長) 駐車場は旧東陽小学校の教員駐車場だったところを工夫次第では使えると思う。

(委員) みどり館で以前営農指導をやっていた。駐車場は公的な場所を活用できるかもしれない。

(委員長) 東陽コミ振とも話をさせてもらう。

(委員) 総じて施設が古くなってきており、特に心配されるのは機械設備や水回りで、改修費用も大きくなることを考えると進める必要がある。かといって今まで使われてきた愛着のある施設なので、地域の人たちと十分に話し合いをしてから進める必要がある。農村環境改善センターの統合は大胆だと思った。遠くなればなるほど、使い勝手が悪くなるし、地域が衰退していくのではないかという不安もあるだろう。地域の方の意見を吸い上げて進めていかないといけないと考える。松山と平田が取り上げられているが、後ろには酒田全体が控えているということも示してもらいたい。

(委員長) 農村環境改善センターは庁舎がある場所から比較的近いため、モデルケースにした。基本的な考え方としては、全市的に考えていかないといけないこと。最後のページで、総合支所の機能はいずれ本庁に集約するとか、住民サービスはDXを使ってコミセンで行うことが考えられるが、いずれ総合支所は廃止する形になる。コミセンのあり方も、全部自治会長の負担で成り立っており、担い手不足の課題がある。36のコミセンの統合も今後あると考えている。また、コミセンの施設を相乗りして使うケースなど、コミセンの機能と施設の統合も一緒に考えていく必要がある。

(委員) 一気ににはできないので段階的に進めていってもらいたい。

(委員) 地元の立場からすると今の状況でなくなったら不便になる。合併から20年経過しようとする中、人口減少も進んでいる。行政としては50年から100年先までを見据えて、合理的な案を出した。今後のあり方だが、この場合は審議会ではないので自由に意見を出しているが、最期の落としどころはどうなるのか。合意形成の場など、こういったプロセスを経て案を出

すのか。東陽コミ振のみどり館への移転は、可能と聞こえるように感じたが、地元の人に確認しておいたほうがいいのではないか。

(委員) コミセンが維持管理するため、地元のコミ振の意見を聞くことは大事。長期でみていくことは大事だが、人口がどんどん減り、その前に組織がストップする。

(委員) 今後の意思決定のプロセスは、役所の決定だけにならないよう、自治会長の意見を集約してもらい、地元からも意見を出したということを議事録として残しておくほうがいいと思う。懇談会終了後、説明会をしていくのか。

(委員長) 案はこの場で決定するものではなく、市のたたき台を作成した上で、地域の方に意見交換を行う場を設け、その後に最終案を作成していくこととなる。

(委員) 行政側が意思決定した後だと、地元の意見は聞くけどほぼ決まりということなのか。

(委員長) 市の案を提示して地元との議論をスタートさせてから、キャッチボールをする。東陽コミ振とも話し合いができなければ先に進めない。最終的には議会での条例改正となるが、皆さんとも議論して意見をいただきたい。

(委員) 松山城址館は文化施設なので機能別公共施設のページに当てはめるのはおかしいのではないか。

(事務局) 松山城址館は舞台上でイベントをして、回りに観客席がある。小規模の会議はできるので、ホール機能としても使えると思う。

(委員) 松山城址館はミュージシャンからすごく音が良いと評価されており、4年前から定期公演をいただいている。今年は14人のビッグバンドでライブ録音もしようかという計画も進んでいるほどなので、是非アピールポイントにして利用拡大したらどうか。

(委員長) 松山城址館はそれぞれ単体では難しいので協力して情報発信する。2回開催して意見をいただいたので、3回目に向けて案をまとめていきたい。

4 その他

第3回懇談会は7月24日に開催するので、よろしくお願いいたします。